

令和 7 年 度 自 己 評 価 表

(愛媛県立内子高等学校・本校)

学校番号 (33)

グラデュエーション・ポリシー	<卒業までに育てる力> 1 自尊心を持ち、逞しく困難に立ち向かう生徒 2 確かな学力を身に付け、自らの生き方を探究する生徒 3 向上心を持ち、目標に向かって粘り強く努力する生徒 4 自他の生命を尊重する心を持ち、人権意識の高揚を目指す生徒 5 社会生活に必要な規律とマナーを身に付け、積極的なコミュニケーションが図れる生徒	カリキュラム・ポリシー	1 第1学年は、芸術科目以外を全て共通科目とし、基礎・基本的な学力の定着を目指します。第2学年から、就職希望者から国公立大学への進学を目指す生徒まで、多種多様なニーズに応えるために二つの類型・四つのコースに分かれ、少人数授業で進路実現に向けた学力向上を図ります。 2 自分の適性や能力を確実に把握し、適切な進路選択を行う力を養うキャリア教育を通して、更なる学習活動の深化・充実を図ります。 3 地域からの学びなどをテーマとした「総合的な探究の時間」や「ホームルーム活動」の主体的、協働的な体験活動を通して、課題発見・解決能力を身に付けます。 4 生徒会活動や学校行事を通して、生徒一人一人が学校の主役であることを実感・自覚することで、自分自身の可能性の拡大を図ります。 5 郷土芸能部やライフル射撃部など多様な部活動の中から、自ら選択した活動を通して、心身ともに大きく成長させて学校生活の充実を図ります。
-----------------------	---	--------------------	---

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
グラデュエーション・ポリシー	グラデュエーション・ポリシーの達成	・グラデュエーション・ポリシーに沿って生徒が成長していると感じる教職員の割合7割以上。	A	・97%の教職員が「十分に成長している」及び「成長している」という肯定的な評価をしている。「あまり成長していない」という否定的な評価は3%であった。	・公営塾と連携した学力の向上や地域と連携した探究活動の深化を図り、グラデュエーション・ポリシーに沿った生徒の成長を促す。
学校経営	円滑な組織運営	・健康で楽しく業務を行えるよう更なる働き方改革を推進する。	B	・会議の精選、事務処理の軽減、ICTの積極的な活用等により、業務の負担軽減を図っている。	・組織の見直し、町の配置によるコーディネーターの活用、生成AIの利用促進等により、更なる業務の負担軽減を図る。
学習指導	家庭学習の充実	・自主学習1日3時間以上を目指す。 A:180分以上 B:180分未満 C:120分未満 D:60分未満 E:0分	C	・考査発表中または考査中でも、家庭学習の時間は平均で2時間程度、平日を含めると1時間程度である。	・家庭学習の重要性について、各教科の授業だけでなく、ホームルーム活動や学年集会など様々な場面で指導していきたい。また、来年度から始まる学習センターの活用を促していきたい。

※ 評価は5段階(A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった)とする。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
生徒指導	規範意識の高揚	・いじめや問題行動の防止・早期発見に努め、特別指導0を目指す。 A:0件 B:1～2件 C:3～4件 D:5～6件 E:7件以上	B	・残念ながら問題行動は2件あったが、早期発見に努め、全教員で対応することができた。	・生徒の様子や、生徒や地域からの情報、SNSによる投稿など、全教職員があらゆる情報に敏感に対応して問題行動の早期発見に努めたい。
	基本的生活習慣の確立	・各学年1か年皆勤者60%以上を目指す。 A:60%以上 B:45～59% C:35～44% D:25～34% E:25%未満	D	・1年生23%、2年生34%、3年生36%であった。全体では31%であった。	・コロナ禍以来、義務教育の段階から欠席に関する意識が変わっており、皆勤に拘ることなく、別の目標設定を考える必要がある。
	交通安全指導の充実	・自転車・原付バイクの交通マナー向上のための講習会を開催し、自転車・原付バイクの交通事故・違反0を目指す。 A:0件 B:1～2件 C:3～4件 D:5～6件 E:7件以上	A	・交通事故や違反は0であった。道路交通法が改正されるため大洲警察署交通課の方に講話をしていただき、詳しい内容について確認することができた。	・今年度に引き続き、集会や講習会での注意喚起を行いつつ、登下校時の実地指導を行う。また交通委員会を中心に危険個所の点検や振り返りを取り入れ、交通安全意識の定着を図る。
		・登下校時、及びプライベート時の自転車用ヘルメット着用率100%を目指す。 A:100% B:90～99% C:80～89% D:70～79% E:70%未満	C	・登校時のヘルメット着用率は100%ではあるが、最寄りの駅までやプライベートでのヘルメット着用に関しては、良い状況とは言えないため、継続した指導が必要である。	・時間に余裕を持って登校させ、自ら率先してヘルメットを着用することができるよう指導を充実させる。また、登下校時、伊予大洲駅、新谷駅等で実地指導を行うなど、生徒の安全行動を見守る活動を行う。
	部活動の充実	・部活動と勉学との両立を図り、主体的に考え、活動する生徒を育成する。 ・県総体出場60名、県高文祭参加40名を目指す。 [運動部] A:60名以上 B:50～59名 C:40～49名 D:30～39名 E:30名未満 [文化部] A:40名以上 B:30～39名 C:20～29名 D:10～19名 E:10名未満	A	・県総体出場63名、高文祭参加40名であった。ライフル射撃部や陸上競技部がインターハイや国民スポーツ大会に出場し活躍をした。	・今後も魅Can部を中心に、各部が活動内容を工夫し、SNS発信をなど上手く利用しながら、活気ある部活動となるよう努めたい。
※ 評価は5段階(A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった)とする。					

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
進路指導	進学指導の充実	・志望校への合格率100%を目指す。 A:100% B:90~99% C:70~89% D:60~69% E:60%未満	A	・ほとんどの生徒が総合型、推薦入試で年内に志望校に合格することができた。国公立前期試験においても複数名合格しており、入試制度の多様化に対応した進路指導が出来ていた。	・第一志望校への合格100%を目指すし、1年生から進学への意識を向上させる指導を行う。また、多様な入試制度に対応できる指導の充実を図る。
	就職指導の充実	・就職内定率100%を目指す。 A:100% B:90~99% C:70~89% D:60~69% E:60%未満	A	・民間企業および公務員とも全員合格することができた。公務員に関しては2年生から対策に取り組み、計画的に学習できていた。	・就職に関する意識と知識を1年生から確立させる。公務員希望者は対策講座への参加等、外部の協力を得た指導を継続的に行う。
人権・同和教育	教職員研修と人権・同和教育活動の充実	・校外の人権・同和教育活動や研修会参加率80%以上を目指す。 A:80%以上 B:60~79% C:50~59% D:40~49% E:40%未満	A	・研修会に参加した教員・保護者から感想を提出してもらい、今後の本校の取組に生かす研修となった。職員会議で、研修の報告をする時間を設けた。	・今後は保護者の積極的な参加を促したい。 ・研修会の内容を保護者に向けた「人権かわら版」で紹介し、周知していきたい。
研修	校内・外研修等への参加	・幅広い見識を身に付け、個々の資質や指導力の向上を図るため、研修会や研究授業・相互授業参観の参加率100%を目指す。 A:100% B:95~99% C:80~94% D:75~79% E:75%未満	A	・出張等で不参加の者を除いては、参加率100%であった。 ・研修会や・相互参観授業の実施により、自教科だけでなく他教科の授業を参考にして新しい発想を得る機会ができた。 ・教科の垣根を越えて互いにアドバイスをし合い、授業改善の場となった。	・各自のICT機器の活用状況や他教科の授業実践を参観する機会を通じて、授業形態の改革を進め、教員の指導力向上に向けた継続的な取組を行う。
図書館教育	図書館活動の推進	・年間図書貸出数一人あたり5冊以上を目指す。 A:5.0冊以上 B:3.6~4.9冊 C:2.0~3.5冊 D:1.5~1.9冊 E:1.5冊未満	A	・年間図書貸出数は、一人当たり5.5冊であった。	・昨年度の6.6冊に比べて1.1冊減少したが、生徒の興味やニーズに合わせた蔵書の更新をしたり、図書館に行く“きっかけ”をつくるイベントを開催したりするなど、引き続き地道な取組を行いたい。
※ 評価は5段階(A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった)とする。					